

陳 情 第 49 号	令 7. 1. 20 受 理
<p>(件 名)</p> <p>全国大会等出場奨励金制度の創設について</p>	
<p>(陳情の要旨)</p> <p>私には子供が2人いる。先日、上の子供が日本将棋連盟主催の小学生将棋名人戦の県予選で優勝し、鹿児島県代表として山形県で行われる全国大会に出場する。</p> <p>同名人戦は、およそ50年の歴史があり、過去の優勝者のほとんどはプロ棋士になるなど由緒正しいタイトルでもある。また、ベスト4に至っては、毎年NHKで対局がテレビ放送される。</p> <p>全国大会出場に当たり、自治体によっては遠征費を助成してくれるところも多いと聞いたので調べてみたが、鹿児島市にはそのような助成金や奨励金の仕組みはなかった。今回、鹿児島県の文化振興課や教育委員会、本市の文化振興課やスポーツ課にも問い合わせたが、そのような助成は行っていないとの回答だった。翻って、他の自治体はというと、全国大会等への出場に係る助成または奨励金の仕組みが整備されている。「鹿児島 全国大会 補助金」などと検索すると、近隣の自治体だけでも霧島市、薩摩川内市、いちき串木野市、始良市などの該当ページがすぐにヒットする。特に始良市は、「全国大会等出場奨励金」として、体育・文化活動を問わず、市民が予選（選考会）などを経て全国大会やそれにつながる九州大会、国際大会に出場する場合、奨励金の交付を受けられるとしている。</p> <p>本来、このような制度が本市にもあるべきではないだろうか。全国のレベルを知ることでさらなるモチベーションや技術の向上につながったり、あるいは、入賞などすれば、その強い鹿児島と戦ってみたいと人や文化の交流が起こることから、市民が研さんを積み、全国大会に出場すること自体が本市の文化振興、スポーツ振興に大きく寄与することは言うまでもない。</p> <p>なお、今年は日本将棋連盟創立100周年という節目の年である。100年という歴史がありながら、過去に鹿児島県が輩出した将棋のプロ棋士は1人もいない。大変残念で不名誉な数字ではあるが、日々研さんを積み全国へ羽ばたこうとする市民に対して一切の手当てがない現状を鑑みれば、それもむべなるかなという思いである。</p> <p>ついては、これからの子供たち及び市民をサポートしてくれる鹿児島市であってほしいという願いを込めて、文化・スポーツ活動で全国大会等へ出場する市民に対し、奨励金を交付する制度を創設していただくよう陳情する。</p>	